

ひがなかの子

令和 5年12月12日発行 第18号 文責 門田



*寒風ついて健脚競う！

朝夕の冷え込みが一段と厳しくなってきました。色鮮やかな紅葉の時期もかけ足で通り過ぎ、夏から秋を飛ばして一気に冬に突入した感じがします。令和5年も残すところ、一月足らず、2学期も最終コーナーとなりました。



様々な行事を経て一回りも二回りも大きく成長した子どもたち。終業式までの残り僅かの期間を二学期のまとめと位置付け、じっくりと学びを深めさせたいと思っています。

さて、子どもたちは、今週末16日(土)に迫ったマラソン大会に向けて、毎朝白い息を吐きながら、一生懸命練習に取り組んできました。昨日からの冷たい雨のためこの2日間練習はできませんでしたが、大会本番では、帰国した山田3兄弟と共に、自分の限界に挑戦する元気な走りを見ることが出来るものと期待しています。

なお、本格的な冬の到来を前に、子どもたちには、手洗い、うがい、換気を励行して、コロナやインフルエンザ、風邪予防に努めるよう声かけを強化していきます。ご家庭においても、今学期残り10日となった課業日を元気に過ごせるよう『早寝・早起き・朝ごはん』を実践していただき、日々の子どもの頑張りをお励みくださいようご協力をお願いいたします。

○6年生との忘れられない思い出・・、お別れ遠足



11月17日(金)は、全校で土佐清水市の足摺海洋館(SATOUMI)と桜浜へお別れ遠足に行ってきました。今年は、これまでのような3月実施は寒さと花粉症、卒業を前に体調を崩すことのないよう考え、場所も本校が、山の学習に取り組んでいることから、山と

海の繋がりを考えさせることもあり下田公園から変更いたしました。心配された雨も上がり、風もなく穏やかな天気にも恵まれました。まずは、

海洋館を縦割り班ごとにゆっくりと時間をかけて回りました。皆、どの水槽に行ってもぴったりと近づいて、カワウソのエサやりや、お目当ての生き物、見たこともない魚たちに大興奮でした。「こうやって、みんなで一緒に見学できることが楽しい」そう話していた子どもたちもいて、来て良かったと思ったことでした。



その後、桜浜におり開会式、次いで津波を想定した、避難場所のオレンジ園を目指す訓練も行いました。



児童会の宝探しや班と一緒に食べた美味しいお弁当の後は、公園の滑り台や砂浜で皆が自由に思い思いの時間を楽しみました。

午後からは、5年生が考え準備してくれた班(学年)対抗「ビーチ・フラッグス」でしたが、勝っても負けても皆が楽しそうに競い合いました。

この日は、皆が一緒に行動する時間が長い分、海洋館でも訓練中もそして、桜浜でも上級生の下級生をいたわる姿や優しい声掛けがたくさん見られました。終日、子どもたちの歓声と笑顔が清水の空に広がった思い出の遠足となりました。

○「人権の花」運動 素敵な花を咲かせよう！(3・4年生)



今年も、12月4日(月)から10日(日)の1週間を、第75回「人権週間」(法務省)として、全国各地で私たち一人一人が多様化する人権問題についての認識を深めるための啓発活動が展開されています。

本校では、11月20日(月)、四万十市

人権擁護委員の岡田さんと四万十市人権啓発センターの二神さんにご協力をいただき、3・4年生が人権の花を植えました。この取り組みは、子どもたちが協力して花を育てることを通じて、命あるものに対して愛情をもって接する心を育てるとともに、自分も人も大切にできる優しい心をはぐくむことを目的としており、例年、本校で実施しています。今年度はセンターからいただいた予算で、ビオラとペチュニアの苗、一人3株を1つのプランターに植え付けました。これから大切に育てていながら、卒業式には花いっぱい体育館で卒業生を送り出したいと思っております。

寒風が吹きつける中、職員室前にきちんと並んだ色とりどりの可愛らしい花々が、これからも元気にたくさんの花を咲かせ、子どもたちの心の中にも優しい思いやりの素敵な花が咲きほこることを願っています。



○地域と連携した防災参観日、ご協力ありがとうございました



11月23日(木)に行った防災参観日には、平成31年2月以来の地域と学校が一体となった防災学習と訓練を行うことができました。子どもたちにとっては、地域や関係諸機関の皆様にご指導いただきながら、日頃からの災害への備えを学び、命を守る防災意識の向上を図る良い機会となりました。不気味に迫る南海トラフ大地震や全国各地で起きている想定外の豪雨災害等、いつ私たちのこの地域を襲ってくるとも限りませんし、いつも周りに大人や友達がいるとは限りません。やはりいざその時に、災害から「自分の身は自分で守る」ためには、防災学習や訓練は繰り返し続け、具体的な避難



行動を覚えておくことが何より大切だと改めて感じた訓練でした。今後も、家庭・地域との連携を行いつつ、全学年で系統的な防災学習に取り組んでいくことで、子どもたちには、災害などの不測の事態に遭遇したとしても、周囲の人々と協力・協働しながら、たくましく生き抜く力を身に付けられることを願っています。



今回の防災参観日には、東中筋地区自主防災連絡協議会(各民生委員さんを含む)、東中筋消防団、国土交通省渡川ダム統管理事務所、四万十市役所地震防災課、幡多中央消防組合四万十消防署、四万十市防災士会、高知県看護の会(あったかふれあいセンター愛ハピネス)の方々など多くのゲスト

ティチャーの皆様にお世話となりました。また保護者の皆様には、16家庭のご参観とご協力がありました。誠に、ありがとうございました。